

創造的高齢者のための「アクティブ・ラーニング・プラス」

平成31年度 高齢社会における
地域活性化コーディネーター養成プログラム
「地域活性化の理論と実践」

講座担当：井上晶子、古本泰之
受講生10名（作成：大久保隆）

目的

- 交流人口、関係人口の拡大を通じて、地域を活性化する

検討のための4つの視点

目的、戦略、ミッション

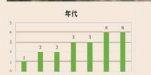


目標

- 三鷹の魅力を広める企画を立案する
- 「みたか知り隊ウォーク」を実践する
- 自分たちができること▶地域の魅力を発見▶街への愛着▶きっかけづくり

「みたか知り隊ウォーク」

- 地域活動家の講演▶企画▶地域調査▶実地調査▶募集▶実践▶振り返り
- 学生と協働



仮説



地域活性化：交流人口の増加

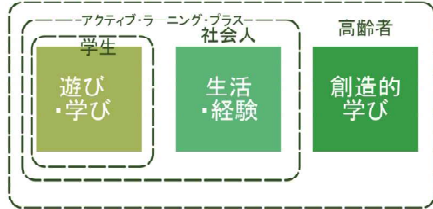
創造的な学びと実践のプロセス | アクティブ・ラーニング・プラスとは

- 自発的な学び（主体的・対話的な学び | 培った知識・技能・経験の再確認 | 本物を知る）
- 学生時代の学び、社会人の経験や知見を統合化し、地域に活力をプラスする
- 地域の人々から培った社会経験や地域活動実績をお互いにプラスする
- 個々人が主体的に役割を決め、自ら得意の分野でプロジェクトを実践する
- 新たな集合組織として創造的なパワーをプラスする

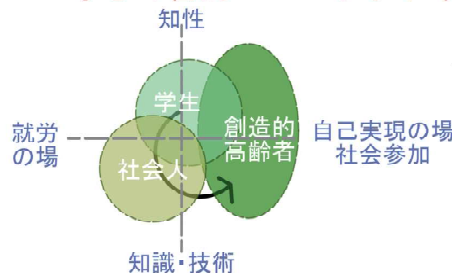


ライフステージと学び

アクティブ・ラーニング・プラス



学びの目的



アクティブ・ラーニング・プラス



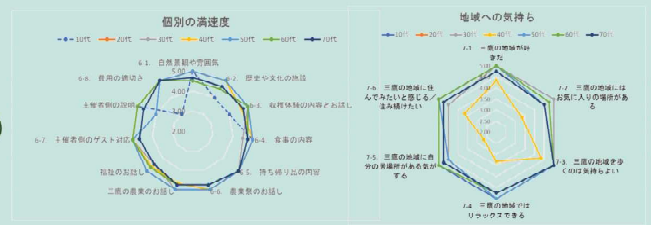
地域力へ



成果

- 学び、主体的に考える力の蓄積
- 交渉力の蓄積
- ソーシャルキャピタルを醸成（参加者、大学教職員、JA農家、福祉事業者、地域活動者）
- BP履修生の経験・能力の人材再発見と活用
- プレイヤーからコーディネーターへの意識改革

アンケート結果



課題（講座での指摘事項）

- 時間・予算の制約と配分
- 地域活動に関する用語や内容の定義・理解、行動と責任範囲、リスクマネジメントの不充分
- 修了後の成果イメージ、受講生の期待が不明確

（受講生の振り返りから今後に向けて）

- 個人的・一時的・短期的関係からネットワーク化・長期的・恒常的關係へ
- 付加価値、革新性の付与と展開
- 修了後の地域活動参画、新規活動の育成フォロー

創造的な地域力になるために

- 都市型高齢者の活躍を支援するコーディネート
- エイジレス・アクティブシニアをネットワーク化
- 他グループとの協働
- 地域・行政を巻き込んだ客観的評価とガバナンス

都市型高齢者の孤立した知を創造的な地域力へ

- 大学と地域拠点（プラットフォーム化）づくり
- 地域コミュニケーションを活性化